

えべつの じかん

photo by kanemaki yasunori

FEATURE

えべつに移住して
わかったこと

FEATURE

江別の公園
20 selection

SPECIAL

えべつの魅力的な人座談会
えべつのいま
えべつのこれから

江別には、
暮らしを見つめる
やさしい時間が
流れている。

江別市に住んでみたい

興味があるとお考えの方は、
お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

江別市企画政策部 政策推進課

直通電話: **011-381-1064**

(月～金曜の8:45～17:15 祝日を除く)

お問い合わせはEメールでも受け付けています。

Eメール: seisaku@city.ebetsu.lg.jp

【発行】

江別市企画政策部広報広聴課

〒067-8674

北海道江別市高砂町6番地

011-381-1009

Eメール: koucho@city.ebetsu.lg.jp

URL <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>

江別市 検索

江別の魅力を
動画で配信中→





種類色々
自慢の野菜!

貸農園や自宅の庭での野菜作りだけではなく、ホームセンターで材料を購入してDIYも楽しんで、江別暮らしを満喫しているのだとか。



島山 真理さん



佐藤 政城さん

えべつに移住して わかったこと

人生の大きな決断だから、移住って不安ですよね。

そこで、江別に移住を決めたお二人に、移住のきっかけや普段の暮らしなど「江別移住の本音」をお聞きしました。

趣味が充実、子どもに優しい江別で叶える理想の暮らし

佐藤 江別に来てから野菜を育て始めたんです。江別には安く借りられる貸農園が結構あるんですよ。最初は庭付きの家を買ったので庭で野菜を育てていたのですが、そのうち「他にもいろいろ育てみたい」と思うようになって。島山 実はうちも貸農園で育てています。良いですね。

島山 あと、休日はドライブやキャンプに行くことも多いのですが、江別だと石狩方面にも旭川方面にもアクセスが良く、動かし回っています。趣味においても理想の暮らしを叶えやすいというのが、江別の良いところですね。

島山 普段の生活でも便利なお店が多いです。特に買物が便利!

佐藤 海産物を買うならあのスーパー、野菜はこのスーパー、みたいに買う物によって選べるのがいいですね。

島山 しかもどこも駐車場が広いから、車での買物もスムーズです!

佐藤 最近は大型のホームセンターができたのが嬉しくて、どんどん充実してきましたよね。

島山 子育ての面でいくと、子どもに対する支援や子ども向けのイベントが多いのが良いです。「ほこあほこ」(P3参照)も魅力ですし、近くの公民館に図書コーナーがあったり、情報図書館や道立図書館にも行ける上に、読み聞かせしてくれるイベントも多くなって、図書環境が整っているのは嬉しいですね。ママが集まれるカフェや、子どもが遊べる公園も多いから、子育て世代にピッタリなまちです!

江別産の食材も発見!



EBRI(エブリ)

撮影に使用した「EBRI」は、旧ヒダ工場の建物を活かしながら、市場やカフェ、飲食店などが揃った市民に人気のスポットです。市内の観光案内を行う「江別アンテナショップ GET'S」も併設しており、ちょっとしたおでかけ先を探すのにもおすすめです。



公園もあって子ども連れに人気!

情報図書館

情報図書館は野幌に本館が、江別と大麻に分館があり、約45万冊を蔵書。インターネットから蔵書検索や予約もできるほか、お子さん・赤ちゃん向けの絵本の読み聞かせなどの催しも毎週開催しています。人形劇やパネルシアター、歌や手遊びを交えた読み聞かせにお子さんとも興味津々。



※写真は本館



便利さと静かさが両立 価格の安さも魅力!

佐藤 僕は札幌出身で、7年前に大麻地区の戸建に引っ越してきました。同じく札幌出身の奥さんと犬2匹で暮らしていて、在宅勤務で江別の生活を楽しんでいます。

島山 私は江別出身です。就職を機に離れましたが、数年前に子どもを出産してから移住してきました。子どもが生まれてすぐは、札幌に住んでいたんです。でも子どもと散歩をしていると車通りが多くて危なくて、自分の子どもの頃、江別ではもつとのびのび走り回っていたな〜と感じていた時に江別で仕事を見つけて移住を決断しました。

佐藤 僕は奥さんと「静かでゆっくりできる場所に引っ越したいね」と移住の話をしていて、江別も候補に上がったんです。奥さんの希望だった静かに過ごせようというのはもちろん、札幌と比べて土地の価格が安かったのもあつて移住を決めました。あと自分の両親や兄弟が札幌にいたので、何かあった時にもすぐに行ける距離というのも大きかったですね。

島山 札幌と近いのは良いですよ。我が家も夫の職場は札幌ですが、江別からなら通えるので抵抗なく移住ができました。通勤の時間も札幌に住んでいたころとほぼ変わらないんですよ。JRもバスもあるので移動手段にも困らないですよ。





エベツの子育て支援は
充実していると聞きました
が本当ですか？

8つの子育て支援センターが お母さんを孤立させません。

- 子育て支援センター
- すくすく
 - ほろっこ
 - もりのこ
 - ゆうあい
 - わかば
 - どんぐり
 - まんま
カフェ
 - ほこ
あほこ

子どもと一緒に自由に遊び、親子で友達づくりをしたり、子育ての不安や悩みを相談するための施設です。就学前の子ども・保護者であれば誰でも利用可能で、子育てに関する講習や情報提供、子育てサークルの育成・支援なども行っています。妊婦さんも歓迎します。



子育て支援センター「すくすく」

親子で遊べる場所に 歩いていけるのはうれしいね。

子育て支援センター以外でも、地区センターや自治会館などで、月に1~2回親子であそべる「地域あそびのひろば」を開催しています。親子のふれあいやあそびの紹介、絵本の読み聞かせなどを行います。

地域で自由に参加できる 遊びや交流の場



子育てのポータルサイト
江別市のさらに詳しい子育て支援については→
[江別市 子育て支援サイト]で検索

子育て情報誌「ホップステップえべつ」はスマホ版も登場

子育て中の「ちょっと困った」をサポートします。 ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポートは、働く人が安心して仕事と育児を両立できるよう、また子育て中に安心できるよう、子育てを応援する仕組みです。子育てについて、手助けのほしい人(依頼会員)と、お手伝いの出来る人(提供会員)とで会員組織を作り、地域で子育てをサポートしていくことを目的として、会員相互の信頼関係をもとに、地域の人がみんなで行って子育てを応援し、子育てに安心できる環境づくりを目指します。



もしもの時も安心「病児・病後児保育」

仕事などのため、発熱や病気の子どもを家庭で保育できない場合、保護者に代わって子どもを保育する病児・病後児保育。市内では「あずま子ども家庭クリニック病児保育室」と病児保育所「夢ふうせん」で行っています。対象は、江別市に住所のある乳幼児から小学校6年生までの、病気が病気が治って間もない子どもです。

子育て応援のまち えべつ

江別市のあちら、こちらに、子育てを支えてくれる施設がたくさん。子育てに奮闘しているママとパパを、まち全体で応援してくれる！



子育て支援センター「すくすく」

冬でもおもしろい遊び場。大型遊具。 う〜ん、コレは強い味方。

無料

ショッピングセンター「イオンタウン江別」の2階。お買いものついでに気軽に遊んだり、ママたちの交流の場としても利用できる、とっても役に立つ施設。



江別で
ママ友と
つながろう！

大型遊具

子育てひろば ほこあほこ

大型複合遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが思いっきり身体を動かすことができる屋内型の遊び場。親同士の交流、情報交換、相談も含め子育て支援センターとして利用でき、託児スペースも併設されています。

住所:江別市野幌町10-1 イオンタウン江別2階
TEL:011-378-4411
開館時間:9:30~17:30(入館は17:00まで)
託児ルーム(有料)は月~金
※事業・講演会・遊具メンテナンス等によりお休みになる場合があります。



クライミングウォール



木の砂場



図書コーナー



木の魚釣り

江別15秒CM
「ほこあほこ編」を
ぜひご覧ください。

こんにちは赤ちゃん事業

子育て情報とともに、企業からの協賛プレゼントと絵本をお届け！
生後4か月頃までの赤ちゃんのいる家庭に、子育て情報や協賛いただいた企業からのお祝いの品をお届けします。また、絵本を2冊プレゼント。絵本を通じて赤ちゃんとのふれあいの時間をお過ごしください。



江別15秒CM
「こんにちは、赤ちゃん編」を
ぜひご覧ください。

指定ゴミ袋の無料配布

江別市では、子育て支援の一環として、2歳未満の乳幼児のいる世帯を対象に指定ゴミ袋を無料で配布しています。使用済紙おむつ処理の負担軽減を目的としています。



江別の公園

20

selection

大・中・小あわせると、233か所もある江別市の公園。どうせなら、ぜんぶコンプリートしたい気分。子どもも楽しいけれど、ママもパパも楽しくなっちゃうかもね。ここでは代表的な20の公園をご紹介します！



- 1 大麻西公園**
 緑に囲まれ、野球場、テニスコート、芝生公園、パークゴルフコースがあり、冬には坂でソリやスキーをする人でにぎわっています。
 所在地:大麻沢町27番地
 アクセス:大麻沢駅よりJRバス「大麻15丁目」下車、徒歩3分 Pあり
- 2 大麻中央公園**
 自然の沢地を利用した約800mの帯状の公園で、野球場や遊具があり、子どもからお年寄りまで楽しめる公園です。
 所在地:大麻宮町10番地・大麻中町34番地
 アクセス:JR大麻駅より徒歩3分 Pあり
- 3 大麻新町公園**
 緑が豊かで、散策しながらたくさんの自然とふれあうことができる公園です。傾斜に沿って作られた40mの長いすべり台や幼児でも楽しめる遊具も多くあり人気の公園です。
 所在地:大麻新町29番地
 野幌駅北口よりJRバス「大麻栄町」下車、徒歩3分 Pあり
- 4 野幌末広町公園**
 特徴的な動物の形をした遊具があるほか、水遊び場もありたくさんの人に利用される公園です。
 所在地:野幌末広町3番地
 アクセス:野幌駅北口よりJRバス「情報図書館前」下車、徒歩3分 Pあり
- 5 錦町公園**
 近代的な中に日本のなぐれ流れ、東屋等があり、遊戯広場で遊ぶ子ども達や、木々の間のグリーンボールコースが人気です。
 所在地:錦町5番地
 アクセス:野幌駅北口より中央バス「保健所前」下車、徒歩1分 Pあり
- 6 豊幌公園**
 広い芝生広場や水遊び場など、みんなが楽しめる明るい公園です。
 所在地:豊幌花園町23番地
 アクセス:JR豊幌駅より徒歩10分

- スーパーマーケット
- 学校
- 郵便局
- 警察署・交番
- 消防署
- 病院



小さい子用の遊具も充実してる!



- 7 道立自然公園 野幌森林公園**
 道立自然公園
 野幌森林公園
 札幌市・江別市・北広島市の3市にまたがる野幌丘陵に位置しており、大都市近郊ながら、まとまった面積の森林が残され、さまざまな動物を観察することができます。
 所在地:江別市西野幌
 アクセス:JR大麻駅より徒歩30分
- 8 道立野幌総合運動公園**
 北海道立野幌総合運動公園は広大な園内に、プールを含むアリーナをはじめ、各種運動施設が配置されている。道民の大規模なスポーツレクリエーションの拠点です。
 所在地:江別市西野幌481番地
 アクセス:野幌駅南口よりJRバス「野幌運動公園」下車、徒歩1分
- 9 文京台南町公園**
 迷路のような散策路を歩いていくと、野菜のモニュメントなどがあるほか、道具広場には大木をイメージしたタワーが印象的な遊具があります。
 所在地:文京台南町62・63番地
 アクセス:大麻沢南口よりJRバス「文京台南町中央」下車、徒歩2分 Pあり
- 10 野幌グリーンモール**
 国道12号から湯川公園まで続く遊歩道には、噴水やモニュメント、ガラス工芸館などたくさん見どころもあり、散歩道や通学路に利用されています。
 所在地:野幌町・野幌代々木町938番地・野幌寿町44番地
 アクセス:JR野幌駅より徒歩10分 Pあり
- 11 野幌屯田町公園**
 グリーンボールのコースやバスケットコートがあるほか、水遊びができる公園です。
 所在地:野幌屯田町22番地
 アクセス:野幌駅北口より中央バス「3番通9丁目」下車、徒歩2分 Pあり
- 12 湯川公園**
 広い敷地内には、複合遊具のある遊び場や広大な芝生公園、バスケットコートがあるほか、森の中ではアカゲラなどの姿を見かけることができます。
 所在地:野幌寿町19番地
 アクセス:野幌駅北口より中央バス「湯川公園」下車、徒歩1分 Pあり
- 13 千古園**
 東西野幌開拓を行った北植殖民社の創立者の一人で、江別の開拓に貢献した関矢孫左衛門の住居跡地。春には桜が楽しめます。
 所在地:東野幌375番地
 アクセス:野幌駅南口よりJRバス「殖民社」下車、徒歩2分 Pあり
- 14 見晴台公園**
 木々に囲まれた見晴台公園は、アスレチック遊具のほかスキー山もあり、ソリやスキーなど冬でも多くの人々に楽しんでいます。
 所在地:見晴台18番地
 アクセス:野幌駅北口より中央バス「見晴台公園前」下車、徒歩1分
- 15 元江別公園**
 大型遊具と多目的な円形の芝生公園が特徴のこの公園は地域のイベント等によく利用され、夏祭りなどの会場となっています。
 所在地:元町35番地
 アクセス:江別駅より中央バス「2番通4丁目」下車、徒歩3分 Pあり
- 16 四季のみち**
 春、夏、秋、冬の四季それぞれをテーマに整備されている各ゾーンにはさまざまなオブジェなどが設置されており、楽しみながら散策できます。
 所在地:牧場町45番地・若草町13番地
 アクセス:江別駅より徒歩10分 Pあり
- 17 飛鳥山公園**
 飛鳥山公園のなだらかな丘は、冬にはチビソリスキー場として利用されており、多くの市民に親しまれています。
 所在地:緑町西2丁目11番地
 アクセス:江別駅より中央バス「青年センター」下車、徒歩1分 Pあり
- 18 上江別南町公園**
 広々とした公園内には、噴水と大きな遊具があり、子ども達に人気です。また、野球場も整備されており多くの人々に利用されています。
 所在地:上江別南町3番地
 アクセス:江別駅よりJRバス「上江別郵便局」下車、徒歩1分
- 19 泉の沼公園**
 カネの訪れる大きな池があるほか、夏には水遊びができる水路や野球場もあり、たくさんの方が楽しめる公園です。
 所在地:東光町31番地
 アクセス:江別駅より、夕鉄及び中央バス「東光町」下車、徒歩3分 Pあり
- 20 江別太公園**
 多目的に使用できる芝生広場や、大きな水遊び場は小さい子ども達に大人気です。
 所在地:萌えぎ野東1番地
 アクセス:江別駅より夕鉄及び中央バス「あけぼの団地入口」下車、徒歩5分 Pあり

江別の教育

江別市では、子どもたちの成長期を健全に育むため、学校の内外で独自の取り組みを行っています。聞く・話す・つくる・食べるなど、あらゆる面から、子どもたちを支えています。

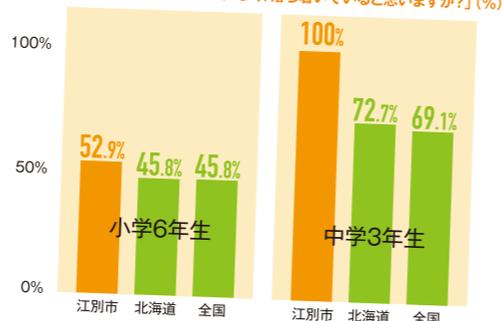
大自然の中で学ぶ学校!

江別市で唯一の特認校である野幌小学校は、大自然の中でびのびと学ぶ学校です。世界的にも有数の平地原生林である野幌森林公園の中で授業を行い、自立心を身につけ、心豊かな人間性を育てています。



野幌小

質問「児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか?」(%)



江別市は授業中の私語が少なく、落ち着いている?

全国の学校を対象にした調査によると、「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか?」との質問に、江別市では小学6年生で52.9%が「そのとおりだと思う」と回答。北海道が45.8%で差が開いています。中学3年生でも江別市100%、北海道が72.7%と大きく上回っています。

※令和3年度全国学力・学習状況調査

外国人の先生から学ぶリアル英語!

江別市の小学校では、1年生からの英語活動を道内でいち早く取り入れました。10名の外国人講師が、6年間を通してゲームやクイズ、歌などの英語活動を行います。子ども達は小さい頃から英語に慣れ親しむことで、外国人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする力が育っていると好評です。

外国語指導助手 畑中 カート先生

勉強って楽しい!

A B C

そのほかさまざまな教育支援

情報図書館おはなし会 読み聞かせボランティア 鈴木さん

本の読み聞かせなどが充実!

0歳~小学生くらいまでを対象に、本の読み聞かせや、紙芝居などを行なっています。子どもたちにはたくさんのお話と出会い、興味を持ってほしいですね。何年も続けていると、小さい頃から通ってくれている子の成長を見ることができて、私にとっての励みになっています。

1 子どもの体力向上「スポトラ」

江別がとぎめくスポーツにトライ大作戦

さまざまなスポーツの基礎づくりを目的とした「スポトラ」を実施しています。運動遊びをベースにした体験学習で、児童の関心を高めスポーツに取り組む姿勢を育む活動を行っています。

2 自然の中で思い出づくり 青少年キャンプ

夏休み中に、1泊2日のキャンプを実施しています。普段の生活では得られない体験メニューは、子どもたちの心に残る夏の思い出となっています。

3 年間約400冊の本を購入 充実した学校図書館

「自ら読んで、進んで調べる」習慣を育てるため、情報図書館司書と連携して興味・関心を高める本を整備しています。各学校で年間約400冊の本を新たに購入し、豊かな心を育てています。

4 安全・安心な地場産野菜! 給食における地場産物の使用

江別市立学校給食センターでは「安全・安心」な給食を提供するため、「江別」で採れる地場産野菜を積極的に食材として使用しています。

6 子どもの感性を育てる さまざまな体験活動

高知県土佐市、米国グレシャム市との交流として、子どもたちの派遣・受け入れを行うほか、豊かな自然を活かしたさまざまな体験活動を実施しています。

1人1人に目が届くから、授業の理解が深まります

学習サポート教員 大塚 榮三さん

8 江別の歴史・文化を学ぶ! 子ども学芸員カレッジ

江別市郷土資料館では小学校4~6年生を対象に、5月から11月の土曜日に9回シリーズで、「子ども学芸員カレッジ」を開催。江別の歴史・文化を学びます。

9 学校運営をみんなで支える コミュニティ・スクール!

学校に、保護者や地域住民等で構成する学校運営委員会を設置し、子どもの教育や学校運営に関して話し合うなど、家庭・地域と一体となった学校づくりを行います。

5 感性をはぐくむ 絵本の読み聞かせ

江別市情報図書館本館と江別・大麻の各分館では、毎週誰でも気軽に参加できるおはなし会を開催しています。

7 学校・家庭・地域が連携して 進める特色ある学校づくり

地域の特性を生かして、本の読み聞かせや花壇の整備などを行ったり、水泳やスキーのボランティアと協力し、体力づくりを行うなど、さまざまな事業を実施しています。

ICT機器を活用した わかりやすい授業!

小中学校の全学級に多機能大型ディスプレイがあり、あらゆる教科で活用しています。また、多機能大型ディスプレイとデジタル教科書を一緒に使い、授業の中でポイントになる内容を目で見てわかりやすいようにしながら授業を進めることで、子どもたちにとってわかりやすい授業を展開しています。

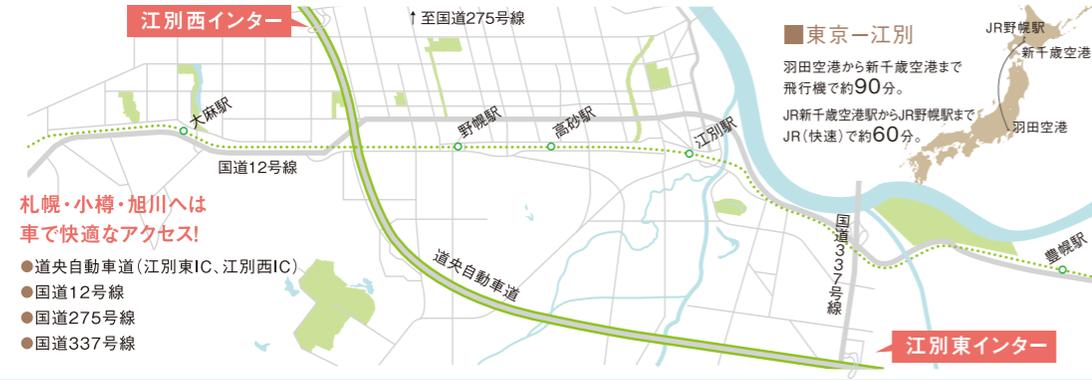


複数の教員が手厚く 学習をサポート!

退職教員などの教員免許を持つ学習サポート教員を小中学校に配置。授業中や放課後、長期休業中に子どもたちへの学習をサポートすることで、確かな学力の定着を図っています。

江別市主要道路

江別市をはしる国道12号、ふたつのインターチェンジで、小樽方面や旭川方面へも好アクセス。



江別の交通事情

札幌で勤務して、江別で暮らして。
オンとオフを、上手に切りかえることができる一。
これって、江別だからこそできることかも。

江別15秒CM「交通編」をぜひご覧ください。



札幌までJRなら約19分
クルマなら約35分

札幌より近い!?

江別に住んでいけば転勤も怖くない!?

JRでもクルマでも、札幌への通勤がラクラク! 主要幹線道路が走っていて道央自動車道にも近いので、転勤があっても江別が拠点ならどこからでも帰ってきやすいのがいね。

ちょっと札幌へ。お酒を飲んでも安心です

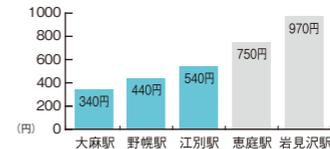
最新のファッションを見に、札幌駅にはよく行きます。JRを使えばすぐだし、食事のついでにちょっとお酒を飲んでも安心ですよ。

家を建てる際に札幌の北区エリアと迷ったんですが、会社のある都心部へのアクセスが決め手になりました。隣街ははずなのに、江別のほうがずっと早いですからね。

座って通勤、快適ですよ

札幌に通勤していますが、江別からだ座ることができ、しかもあっという間に着くので、札幌市内で暮らしていた時よりラクですね。

札幌近郊都市で比べるとJRの運賃はお得!?



江別駅から札幌までの運賃は540円。江別と同じように札幌の近郊都市である恵庭駅で750円、岩見沢駅は970円です。江別市の中でも札幌に近い大塚駅だと340円なので、札幌への買い物も手軽に行けますね。

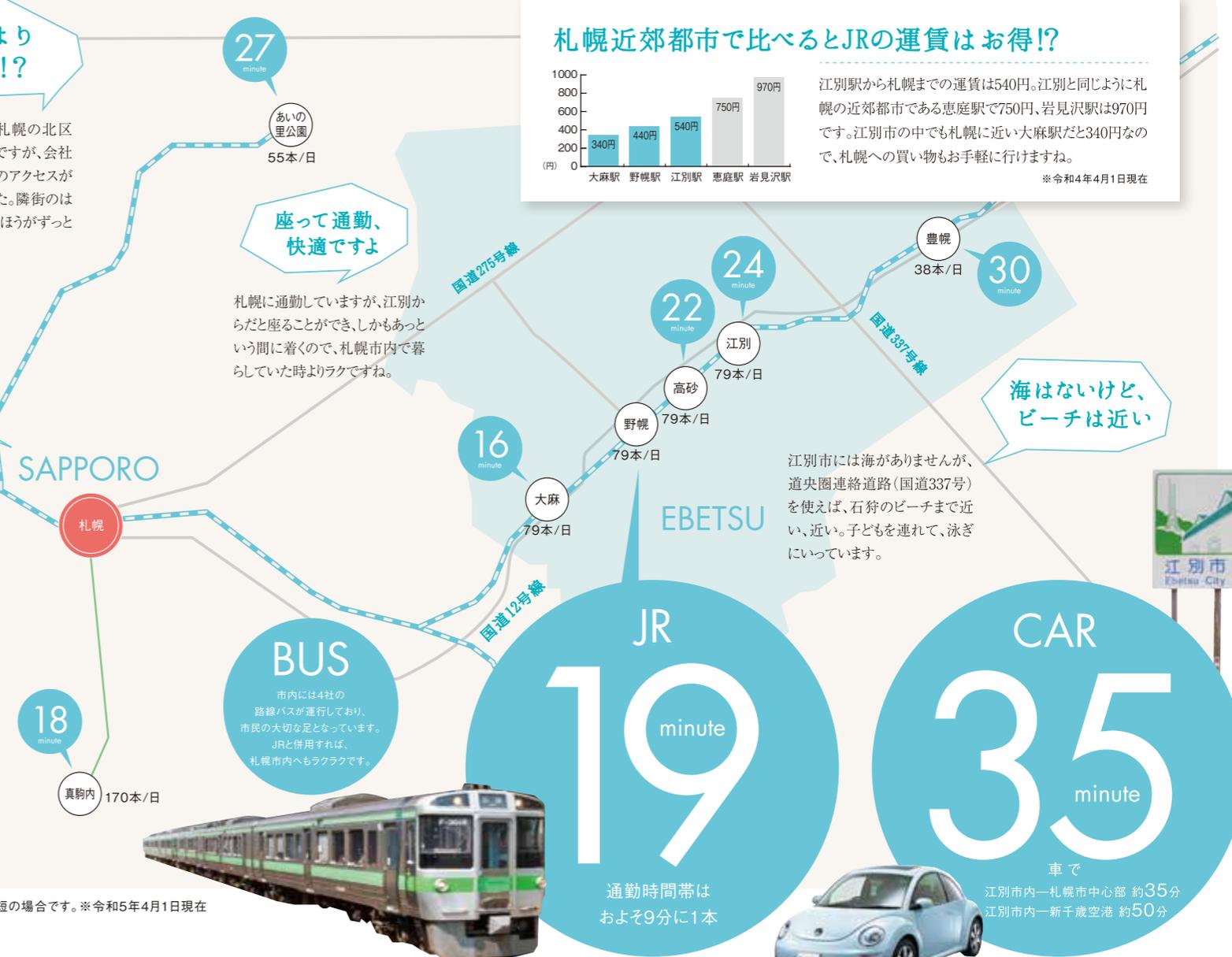
※令和4年4月1日現在

駅中心のまちづくり

江別市では駅を中心としたまちづくりを進めており、市内で最も都市化が進んだ野幌駅周辺を中心市街地として位置付け、函館本線により分断されていた南北の一体化と都市機能の充実のために「江別の顔づくり事業」を行いました。れんがと緑が調和したグリーンモールや野幌中央緑地の整備のほか、街路灯のLED化やサイクルシェアリングなどを実施し、環境に配慮したまちづくりを行っています。



数字は平日ダイヤの札幌までの片道の本数、所要時間は最短の場合です。※令和5年4月1日現在



大麻銀座商店街 ブックストリート

一年を通じて月1回行われる「屋外古書市」です。大麻銀座商店街に並ぶ約3,000冊はすべて1冊100円。書評合戦「ビブリアバトル」や、一般参加者の出店「三箱古書市」、ブックコーディネーターが選んだ本の販売など、本に関する催しで、世代を越えた賑わいを創りだしています。



顔の見える
地域交流を
目指して

ふたりの マルシェ

アンビシャスファームが5月～10月の期間限定で運営する週末1日だけの特別なやさしい直売所。



つくり手の
想いを伝えて
います

柏村さんは農業体験の受け入れだけでなく、農業や江別産の野菜について伝える講師として食育に携わることも。

山崎 「江別のために何かしたい」と活動していくと人同士がつながるんです。魅力的で面白い人が多いから、いつの間にかコラボしていることも。

三ツ井 最近江別の魅力が伝わるイベントが増えている、大麻では「大麻銀座商店街ブックストリート」という本のイベントを開催したり、さきほど話した「協力隊の協力隊」でも札幌でPRイベントを行っています。

山崎 僕も今、仲間と一緒にイベントをしたり動画を作ったりしています。これからのまちの共感を築いていくためにも、もっともっと魅力的なことを発信していきたいですね。

ぜひ体験してほしい。同じように自分の子どもの頃の体験が良かったから、子どもができた時に戻ってくる人が周りにも多いんです。

魅力を発信して
江別を盛り上げていく

柏村 江別って良い環境が当たり前のようにあるから、それを活用できるんですよ。

三ツ井 柏村さんの奥様がやられている野菜の出張販売「ふたりのマルシェ」もそうですけど、直売所が多くて地場産の野菜を手に入れられるのが豊富な環境かも。

柏村 都会でも田舎でもあり、生産者と消費者の距離が近い。それを活かして小学生の農業体験を行ったり、一般の方でも畑に来て下さるのを歓迎する「顔も畑も見える農業」を行っています。今後は体験型ファームインも考えていて、もっと江別に注目してもらえるように頑張っています！



山崎 啓太郎さん

三ツ井 瑞恵さん

柏村 章夫さん



撮影は豊幌地区にあり、インタビューにも登場する柏村さんの経営する「アンビシャスファーム」で行いました。

えべつのいま えべつのこれから

word by yamazaki mai photo by kanemaki yasunori

江別に住んでいるからには、江別をもっと良くしたい！
そんな想いを行動に移している人がいます。
3名の方の「えべつビジョン」をうかがいました。

豊かな
自然



野幌森林公園の
オオアカケラ

自然も農業も子育ても
江別に惹かれる理由さまざま

山崎 僕は2011年に移住してから江別のために自分がかかできないかと考え「EBBETSU SECOND PROJECT」というプロジェクトや、江別の地域おこし協力隊を応援する「協力隊の協力隊」という活動を立ち上げています。

三ツ井 私は親が江別に移住したので江別に育ちました。就職や結婚後は札幌にいたのですが、子育てを機に移住。山崎さんが立ち上げた「協力隊の協力隊」にも参加しています。

柏村 僕は山口県出身で酪農学園大学進学時に江別に来ました。就職は道外でしたが大学時代の友人が江別で農場を継ぐことになり、次世代が魅力的に感じる農業を一緒にやろうと再び江別へ。今は会社を作ったその農場を経営しています。江別の皆さんが道外出身でも受け入れてくれたので、その分またの愛着が強いです。札幌に近くて便利だし自然もたくさんある。程よいですね。

山崎 自然といえば、子どもが鳥好きで自宅に鳥のエサ台を置いているんですが、野幌森林公園が近いので野鳥が来るんですよ！身近にこんなに自然があるのってすごい。

三ツ井 子どもの頃から自然と親しめるのは良いですね！子どもを「こんがり王国」というキッズキャンプに参加させたんですが、実は私が子どもの頃にも参加したイベントなんです。良い思い出として残っていたので

えべつセカンドプロジェクト

協力隊
の
協力隊



江厚別町



山崎さんが立ち上げたえべつセカンドプロジェクトでは、みんなで創る江別と厚別の境界を中心に広がる架空のまち「江厚別」を舞台に、エアで自由なまちづくりをめざしています。

ebetsu2nd.net/



写真は札幌地下歩行空間で上映された江別市のPR動画。

食べて 遊んで 楽しんで
もっと江別が
好きになる。

えべつのじかんはいかがでしたか？
少しでも興味を持っていただけたら
ぜひ一度訪れてみてください。

事前チェックは
こちらのサイトが便利です。



えべつコレクション

検索

江別市公式観光情報サイト



江別シティプロモート

検索

江別シティプロモート推進協議会HP

江別の知ったクデータ

江別市ってどんなまち？ いい街なのかな？ 暮らしやすいのかな？ そんな疑問もひと目でわかる情報ページ。

子育て世代に選ばれています
0~14歳の転入超過数
全国の市町村の中で

16
位

総務省の「住民基本台帳人口移動報告令和4年結果」によると、「年齢3区分別転入超過数の多い市町村」の「年齢0歳~14歳」の区分において、江別市が全国16位となりました。この統計からも、0歳~14歳という世代とともに子育て中の世帯が多く転入してきていることが分かります。

住宅地
平均地価
41,700
円/m²

北海道の住宅地平均地価46,800円。その差は5,100円となっており、お得な価格といえます。都心に比べて住宅1軒辺りの区画も広い場合が多く、マンションよりも戸建て派という若い世代にとっては、嬉しい情報かもしれません。※資料:令和5年地価公示(令和5年1月1日現在)



大麻に移住した
いわもとみえ
岩本民江さん

13年前に子ども3人、5人家族で大麻沢町に引っ越してきました。札幌で社宅住まいだったので一戸建てに住みたくて。大麻団地は自然も豊かだし、静かで住みやすいと感じています。お年寄りが多いので、子どもたちに優しくしてくれてうれしいですね。最近は同じ世代の人も増えてきていますよ。

酪農学園大学



主な公開講座
動物、植物、環境など、身近で生活に役立つ知識が楽しい

北翔大学 北翔大学短期大学部



主な公開講座
健康・スポーツ・文化・芸術などの幅広い教養のほか、資格取得を支援

札幌学院大学



主な公開講座
法学・経済学などの社会科学、文化・歴史などの人文科学が中心

北海道情報大学



主な公開講座
ITやインターネット、デジタルメディアなど実用的なメニュー

大学・短大



校

江別市は大学のまち。市内にある4つの大学と1つの短期大学は、それぞれが個性的な学部・学科を設置し、専門性の高い教育が行われていることで知られています。また市民向けの公開講座やセミナーを開催するなど、道立や民間を含めた研究施設が多いのも、江別のまちの特徴。大学との連携のほか、地域ブランドの開発など地元とも連携して取り組んでいます。江別市ではこのように、質の高い教育や研究が、広く市民へ発信されています。

子育てにはもってこいの環境 大麻エリア

江別の西部に位置する大麻は、子育てにピッタリなエリア。それには3つの理由があります。

- 1 子どもが中心！
幼稚園を中心に、その周りに公園や住居スペースを配置したまちづくりをしています。
- 2 安全第一！
子どもの安全のため、あえて道路を袋小路にするなど交通量を抑える工夫をしています。
- 3 自然の中で育つ！
原生林のなごりである自然地形が残っており、子どもは自然の中で学び育ちます。

大麻エリアは北海道初のニュータウンとして開発され、約50年が経ちました。現在江別市では、子育てに適した住環境を活かすため、住まいの無料相談などを行って、住み替えを積極的に支援しています。

直売所



カ所

貸し農園



カ所

農業に関心を高めてもらうことを目的として、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が平成17年5月に設立されました。この協議会に参加している「貸し農園」と「直売所」の数です。生産者の顔が見えるので安全・安心な農産物を手軽に購入することができます。※令和5年4月1日現在